

市民向けアンケート調査結果報告書（「第7期茅ヶ崎市障がい者保健福祉計画」策定のための基礎調査）

実施期間 令和4年12月7日（水）～28日（水）

実施方法 アンケートフォーム（市ホームページ内）

紙（障がい福祉課窓口、カフェドットコム、公民館ほか公共施設）

回答者数

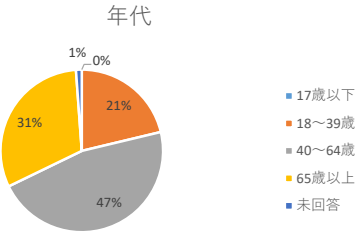
	ネット	紙 （持参・郵送）	紙 （ドットコム）	合計
	120	14	40	174

あなたについて

問1 年代

回答 1

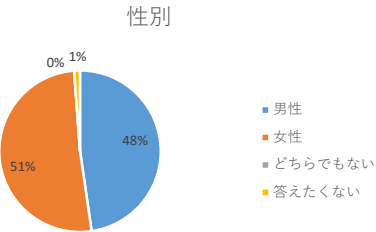
	インターネット	紙 （持参・郵送）	紙 （ドットコム）	合計
17歳以下	0	0	0	0
18～39歳	35	2	0	37
40～64歳	70	5	6	81
65歳以上	15	6	33	54
未回答	—	1	1	2
合計	120	14	40	174



問2 性別

回答 1

	インターネット	紙 （持参・郵送）	紙 （ドットコム）	合計
男性	70	3	10	83
女性	50	10	29	89
どちらでもない	0	0	0	0
答えたくない	0	1	1	2
合計	120	14	40	174

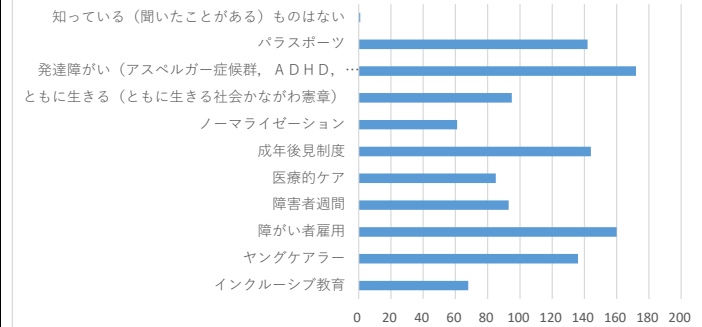


障がいの認知度等について

問3 知っている、聞いたことがある言葉

	インターネット	紙 (持参・郵送)	紙 (ドットコム)	回答 全て 合計
インクルーシブ教育	59	7	2	68
ヤングケアラー	97	12	27	136
障がい者雇用	113	11	36	160
障害者週間	70	8	15	93
医療的ケア	63	6	16	85
成年後見制度	104	11	29	144
ノーマライゼーション	57	2	2	61
ともに生きる（ともに生きる社会かながわ憲章）	73	7	15	95
発達障がい（アスペルガー症候群、A D H D、自閉症等）	112	13	47	172
パラスポーツ	107	12	23	142
知っている（聞いたことがある）ものはない	1	0	0	1

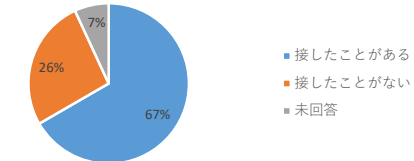
知っている、聞いたことがある言葉



問4 障がいのある方との接する機会（1年以内）

	インターネット	紙 (持参・郵送)	紙 (ドットコム)	回答 1 合計
接したことがある	92	9	15	116
接したことがない	28	4	14	46
未回答	0	1	11	12
合計	120	14	40	174

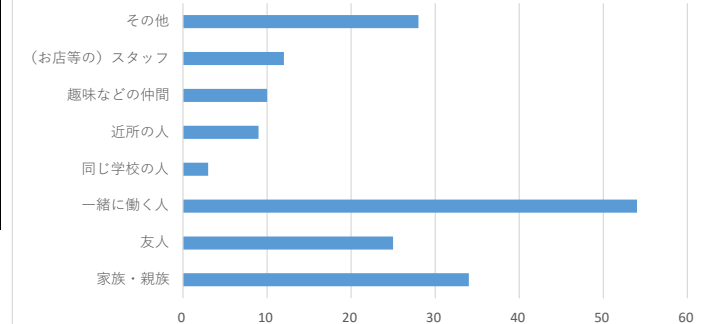
障がいのある方との接する機会



問4-1 誰と接したか

	インターネット	紙 (持参・郵送)	紙 (ドットコム)	回答 全て 合計
家族・親族	25	1	8	34
友人	18	3	4	25
一緒に働く人	48	5	1	54
同じ学校の人	3	0	0	3
近所の人	8	1	0	9
趣味などの仲間	8	0	2	10
（お店等の）スタッフ	9	0	3	12
その他	26	1	1	28

誰と接したか



問4-2 その他（自由記述部分のため別紙）

問5 障がいに関することを見聞きした媒体（1年以内）

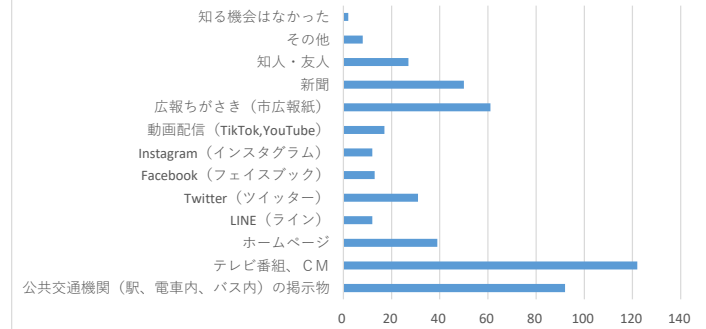
回答

全て

	インターネット	紙 (持参・郵送)	紙 (ドットコム)	合計
公共交通機関（駅、電車内、バス内）の掲示物	69	5	18	92
テレビ番組、CM	90	11	21	122
ホームページ	38	0	1	39
LINE（ライン）	11	1	0	12
Twitter（ツイッター）	30	0	1	31
Facebook（フェイスブック）	13	0	0	13
Instagram（インスタグラム）	11	1	0	12
動画配信（TikTok,YouTube）	15	1	1	17
広報ちがさき（市広報紙）	43	4	14	61
新聞	40	4	6	50
知人・友人	13	4	10	27
その他	4	2	2	8
知る機会はなかった	2	0	0	2

問5-1 その他（自由記述部分のため別紙）

障がいに関することを見聞きした媒体



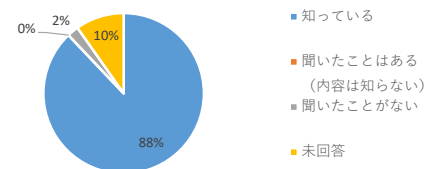
障がい者差別について

問6 「津久井やまゆり園」の事件認知度

回答 1

	インターネット	紙 (持参・郵送)	紙 (ドットコム)	合計
知っている	117	12	24	153
聞いたことはある (内容は知らない)	0	0	0	0
聞いたことがない	3	1	0	4
未回答	0	1	16	17
合計	120	14	40	174

「津久井やまゆり園」の事件認知度

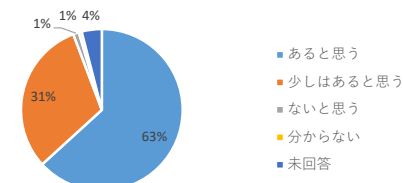


問7 障がいのある方に対する差別、偏見

回答 1

	インターネット	紙 (持参・郵送)	紙 (ドットコム)	合計
あると思う	83	5	22	110
少しはあると思う	34	8	12	54
ないと思う	2	0	0	2
分からない	1	0	0	1
未回答	0	1	6	7
合計	120	14	40	174

障がいのある方に対する差別、偏見

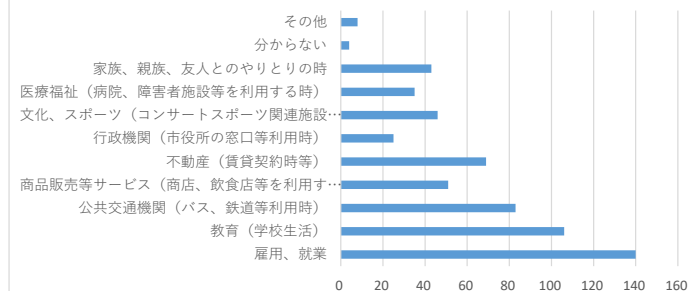


問7-1 どのような場面か

回答 全て

	インターネット	紙 (持参・郵送)	紙 (ドットコム)	合計
雇用、就業	102	10	28	140
教育 (学校生活)	84	10	12	106
公共交通機関 (バス、鉄道等利用時)	63	6	14	83
商品販売等サービス (商店、飲食店等を利用する時)	42	2	7	51
不動産 (賃貸契約時等)	54	7	8	69
行政機関 (市役所の窓口等利用時)	21	1	3	25
文化、スポーツ (コンサートスポーツ関連施設等を利用する時)	41	1	4	46
医療福祉 (病院、障害者施設等を利用する時)	28	1	6	35
家族、親族、友人とのやりとりの時	35	3	5	43
分からない	3	1	0	4
その他	7	1	0	8

(障がいのある方に対する差別、偏見)
どのような場面か



問7-2 その他 (自由記述部分のため別紙)

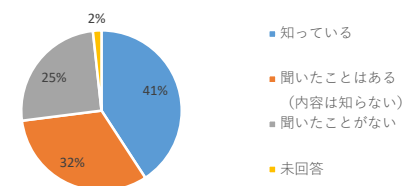
問8 差別解消法の認知度

回答

1

	インターネット	紙 (持参・郵送)	紙 (ドットコム)	合計
知っている	62	3	6	71
聞いたことはある (内容は知らない)	32	7	17	56
聞いたことがない	26	3	15	44
未回答	0	1	2	3
合計	120	14	40	174

差別解消法の認知度



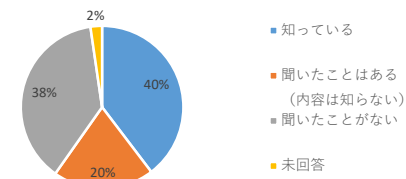
合理的配慮について

問 9 合理的配慮の認知度

回答 1

	インターネット	紙 (持参・郵送)	紙 (ドットコム)	合計
知っている	62	4	3	69
聞いたことはある (内容は知らない)	18	3	14	35
聞いたことがない	40	6	20	66
未回答	0	1	3	4
合計	120	14	40	174

合理的配慮の認知度

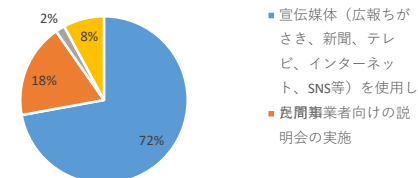


問 10 合理的配慮を浸透させる (広める) 方法

回答 1

	インターネット	紙 (持参・郵送)	紙 (ドットコム)	合計
宣伝媒体 (広報ちがさき、新聞、テレビ、インターネット、SNS等)	90	11	18	119
民間事業者向けの説明会の実施	15	6	9	30
(事業者も事情があるので) 特別な配慮をする必要はない	2	1	0	3
その他	13	0	0	13

合理的配慮を浸透させる (広める) 方法



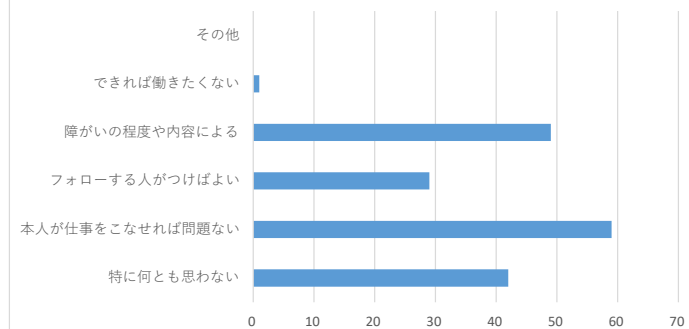
問 10-1 その他 (自由記述部分のため別紙)

問 11 障がいのある方と一緒に働くこと

回答 1

	インターネット	紙 (持参・郵送)	紙 (ドットコム)	合計
特に何とも思わない	28	7	7	42
本人が仕事をこなせれば問題ない	40	6	13	59
フォローする人がつけばよい	14	3	12	29
障がいの程度や内容による	37	3	9	49
できれば働きたくない	1	0	0	1
その他	0	0	0	0

障がいのある方と一緒に働くこと



問 11-1 その他 (自由記述部分のため別紙)

ヘルプマークについて

問12 ヘルプマークの認知度

回答 1

	インターネット	紙 (持参・郵送)	紙 (ドットコム)	合計
知っている	97	11	24	132
知らない	13	1	3	17
見たことはある	10	1	2	13
未回答	0	1	11	12
合計	120	14	40	174

問12-1 着用者への声掛け、手助け

回答 1

	インターネット	紙 (持参・郵送)	紙 (ドットコム)	合計
したことがある	38	6	7	51
したことがない	69	5	24	98
未回答	13	3	9	25
合計	120	14	40	174

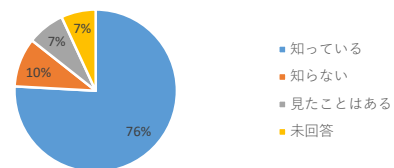
問12-2 その他（自由記述部分のため別紙）

問12-3 手助け、声掛けしにくい理由

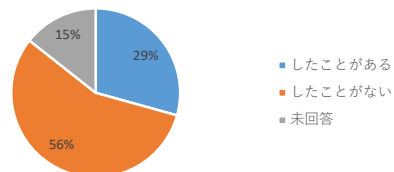
回答 1

	インターネット	紙 (持参・郵送)	紙 (ドットコム)	合計
相手がどのように反応するか分からないので不安	21	6	14	41
おせっかいのような気がする	15	6	4	25
相手や周囲に気恥ずかしさを感じるから	2	1	2	5
適切に対応できそうもないから（何をしていいかわからない）	17	4	11	32
手伝えることは障がいのある方のためにならないから	0	0	0	0
関りたくないから	1	0	0	1
専門の人や関係者にまかせた方がよいと思うから	1	0	1	2
未回答	63	0	0	63

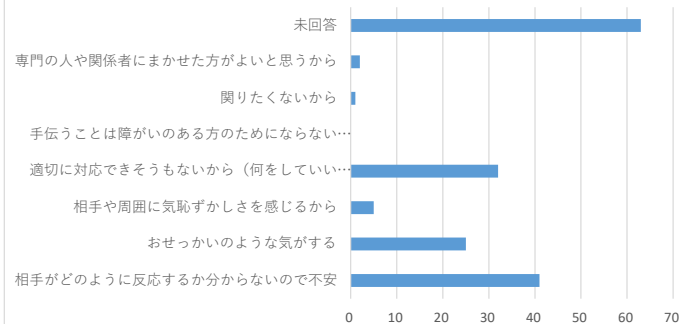
ヘルプマークの認知度



（ヘルプマーク）着用者への声掛け、手助け



（ヘルプマーク）手助け、声掛けしにくい理由



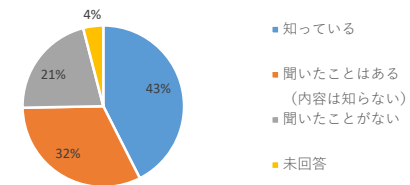
虐待防止について

問 1 3 障害者虐待防止法の認知度

回答 1

	インターネット	紙 (持参・郵送)	紙 (ドットコム)	合計
知っている	61	2	11	74
聞いたことはある (内容は知らない)	32	8	16	56
聞いたことがない	27	3	7	37
未回答	0	1	6	7
合計	120	14	40	174

障害者虐待防止法の認知度

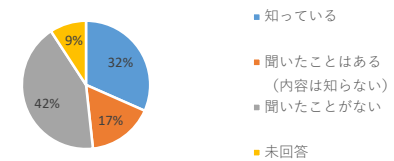


問 1 4 虐待を確認した際の市虐待防止センターへの通報義務の認知度

回答 1

	インターネット	紙 (持参・郵送)	紙 (ドットコム)	合計
知っている	47	2	6	55
聞いたことはある (内容は知らない)	21	1	7	29
聞いたことがない	52	9	13	74
未回答	0	2	14	16
合計	120	14	40	174

虐待を確認した際の市虐待防止センターへの通報義務の認知度

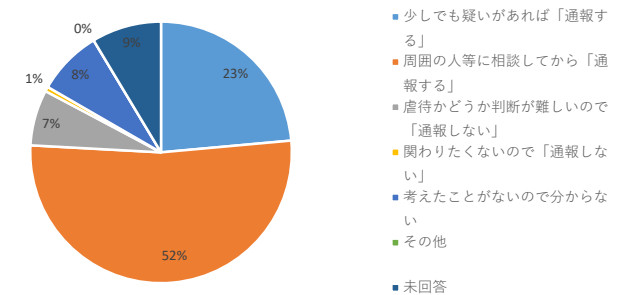


問 1 5 虐待を確認した際の市虐待防止センターへの通報

回答 1

	インターネット	紙 (持参・郵送)	紙 (ドットコム)	合計
少しでも疑いがあれば「通報する」	31	1	9	41
周囲の人等に相談してから「通報する」	67	9	15	91
虐待かどうか判断が難しいので「通報しない」	8	1	3	12
関わりたくないの「通報しない」	1	0	0	1
考えたことがないので分からない	13	1	0	14
その他	0	0	0	0
未回答	0	2	13	15
合計	120	14	40	174

虐待を確認した際の市虐待防止センターへの通報



問 1 5 - 1 その他 (自由記述部分のため別紙)

障がい福祉全般について

問16 障がいの「ある」「なし」にかかわらず、ともに生きる社会を実現するための手法

回答

最大3

	インターネット	紙 (持参・郵送)	紙 (ドットコム)	合計
幼少期から障がいのある児童や障がいのある方と自然に関わるこ とのできる環境	86	12	22	120
学校における障がいに関する研修	87	4	12	103
障がいのある方が共に参加できる活動やイベントの実施	44	3	15	62
障がいのある方を支える地域での支援	45	5	12	62
障がいのある方を支える福祉サービスの充実や支援者の育成	53	4	20	77
障がいのある方が働きやすい環境	71	5	14	90
障がいのある方を支える家族等への支援	53	4	14	71
分からない	2	0	1	3
その他	0	0	0	0

588

問16-1 その他（自由記述部分のため別紙）

問17 設問の数

回答

1

	インターネット	紙 (持参・郵送)	紙 (ドットコム)	合計
多い	31	6	14	51
適当	88	7	12	107
少ない	1	0	1	2
未回答	0	1	13	14
合計	120	14	40	174

問18 回答のきっかけ

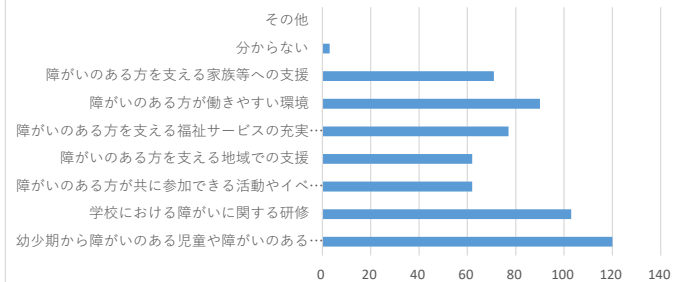
回答

1

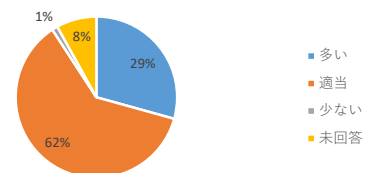
	インターネット	紙 (持参・郵送)	紙 (ドットコム)	合計
自分に障がいがあるから	12	0	2	14
親族に障がいのある方がいるから	16	1	7	24
過去に障がいのある方と接したことがあるから	25	8	12	45
障がい福祉に関する仕事をしているから	15	3	0	18
障がい福祉について勉強した事がある	3	1	0	4
意見を障がい福祉施策に役立てたいから	8	3	4	15
障がい福祉施策について興味があるから	4	2	7	13
時間があったから	27	2	12	41
その他	4	0	0	4

問18-1 その他（自由記述部分のため別紙）

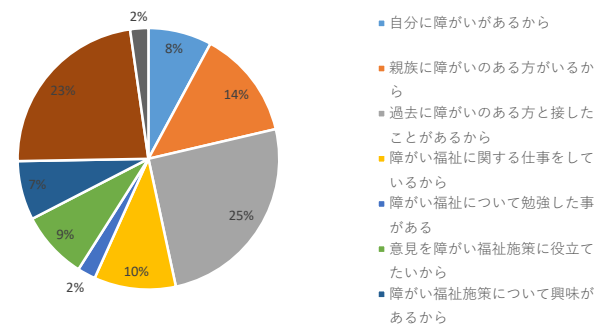
障がいの「ある」「なし」にかかわらず、ともに生 きる社会を実現するための手法



設問の数



回答のきっかけ



問19 アンケートを知った媒体

回答 1

	インターネット	紙 (持参・郵送)	紙 (ドットコム)	合計
広報ちがさき	12	0	4	16
市ホームページ	44	0	0	44
Twitter (ツイッター)	12	0	0	12
メール配信	1	0	0	1
デジタルサイネージ (市役所エレベータ横にある電子掲示板等)	5	1	0	6
公共施設に掲示されていたポスター	10	0	0	10
その他	36	12	19	67
未回答	0	1	17	18
合計	120	14	40	174

問19-1 その他 (自由記述部分のため別紙)

アンケートを知った媒体

